



CHAPTER 2

サーバの設定

ここでは、次の内容について説明します。

- 「サーバの設定値」 (P.2-1)
- 「サーバの検索」 (P.2-4)
- 「サーバの設定」 (P.2-5)
- 「サーバの削除」 (P.2-7)
- 「関連項目」 (P.2-9)

サーバの設定値

[サーバの設定 (Server Configuration)] ウィンドウでは、Cisco Unified Communications Manager がインストールされているサーバのアドレスを指定します。表 2-1 では、サーバの設定値について説明します。関連する手順については、「関連項目」 (P.2-9) を参照してください。

始める前に

サーバを設定する前に、次の点を確認してください。

- 各サーバは、[サーバの設定 (Server Configuration)] ウィンドウで一度だけ追加するようにしてください。ホスト名を使用してサーバを追加し、その後同じサーバを IP アドレスを使用して再び追加すると、Cisco Unified Communications Manager は、Cisco Unified Communications Manager のアップグレード後にサーバのコンポーネントバージョンを正しく判別できません。Cisco Unified Communications Manager の管理ページに同じサーバのエントリが 2 つある場合は、アップグレードする前にエントリのどちらかを削除します（「サーバの削除」 (P.2-7) を参照）。
- Cisco Unified Communications Manager の新規インストールを実行するときには、2 番目以降の各サーバ（ノード）上に Cisco Unified Communications Manager をインストールする前に、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [サーバの設定 (Server Configuration)] ウィンドウで、それらの各サーバを定義する必要があります。2 番目以降のノードを定義するには、[新規追加 (Add New)] をクリックし、「サーバの設定」 (P.2-5) の手順を実行します。2 番目以降のサーバを追加したら、そのサーバに Cisco Unified Communications Manager ソフトウェアをインストールすることができます。
- ネットワークで IPv4 を使用する場合は、適切な Cisco Unified Communications Manager 名とアドレス情報で、まず DNS サーバを更新した後、その情報を使用して、Cisco Unified Communications Manager サーバを設定する必要があります。

**注意**

ネットワークで IPv6 またはデュアルスタック モードの IPv4 および IPv6 がサポートされている場合は、Cisco Unified Communications Manager リリース 7.0(x) からリリース 8.0(2) にアップグレードする前に、IPv6 用 DNS サーバをプロビジョニングできます。ただし、リリース 8.0(2) へのアップグレードが終了するまで、IPv6 用 Cisco Unified Communications Manager の DNS レコードを設定しないでください。リリース 8.0(2) にアップグレードする前に IPv6 用 Cisco Unified Communications Manager の DNS レコードを設定すると、アップグレードが失敗し、リブート後にシステムが機能しなくなります。

- DNS を正常に動作させるため、必ず、すべてのサーバ（ダミー ノードを含む）の IP アドレスを DNS サーバ上のホスト名にマップしてください。この作業を行わないと、Cisco Unified Communications Manager により、License Manager サービスがダウンしていることを示すアラームが生成されます。
- Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [ホスト名/IPアドレス (Host Name/IP Address)] フィールドはいつでも更新できます。
- [サーバの設定 (Server Configuration)] ウィンドウで IP アドレスを変更する場合、設定の保存を実行すると、「サーバの名前/IPアドレスの変更は、Cisco Unified CallManager に問題が発生する原因となる場合があります。続行しますか?(Changing the name/IP Address of the server may cause problems with Cisco Unified CallManager. Are you sure that you want to continue?)」というメッセージが表示されます。[OK] をクリックする前に、[ホスト名/IPアドレス (Host Name/IP Address)] フィールドの更新が及ぼす影響について必ず理解しておいてください。たとえば、この設定を誤って更新した場合、Cisco Unified Communications Manager が動作不能になることがあります。つまり、データベースが動作しない、Cisco Unified Communications Manager の管理ページにアクセスできない、などの問題が発生することがあります。また、このフィールドを更新する場合、他の関連作業を実行しないと、Cisco Unified Communications Manager に問題が発生することがあります。
- IP アドレスまたはホスト名の変更の詳細については、『*Changing the IP Address and Host Name for Cisco Unified Communications Manager Release 8.0(2)*』を参照してください。

表 2-1 サーバの設定値

| フィールド | 説明 |
|--------------------------------------|--|
| [サーバ情報 (Server Information)] | |
| [ホスト名/IPアドレス (Host Name/IP Address)] | <p>ネットワークで IPv4 アドレスにマップできる DNS を使用している場合、Cisco Unified Communications Manager サーバのホスト名を入力します。使用していない場合は、サーバの完全な IPv4 アドレスを入力する必要があります。</p> <p>ヒント ネットワークで IPv6（または IPv4 と IPv6）がサポートされている場合は、[ホスト名/IPアドレス (Host Name/IP Address)] フィールドに加えて [IPv6名 (IPv6 Name)] フィールドも設定します。</p> <p>(注) 適切な Cisco Unified Communications Manager 名とアドレス情報で、まず DNS サーバを更新した後、その情報をこのフィールドに入力する必要があります。</p> |

表 2-1 サーバの設定値 (続き)


| フィールド | 説明 |
|------------------------------------|--|
| [サーバ情報(Server Information)] | |
| [IPv6名 (IPv6 Name)] | <p>このフィールドは IPv6 をサポートします。ネットワークで IPv6 アドレスにマップできる DNS を使用している場合、Cisco Unified Communications Manager サーバのホスト名を入力します。使用していない場合は、Cisco Unified Communications Manager サーバの非リンクローカル IP アドレスを入力します。非リンクローカル IP アドレスの取得方法については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[イーサネット IPv6(Ethernet IPv6)] ウィンドウでの IPv6 CLI コマンドの実行および IPv6 の設定」を参照してください。</p> <p>このフィールドは、TFTP 設定ファイルに含まれており、Cisco Unified Communications Manager サーバの IPv6 アドレスを取得するために SCCP を実行している電話機によって使用されるので、電話登録が行われます。</p> <p>ヒント 必ず、適切な Cisco Unified Communications Manager 名とアドレス情報で DNS サーバを更新してください。</p> <p> 注意 ネットワークで IPv6 またはデュアルスタック モードの IPv4 および IPv6 がサポートされている場合は、Cisco Unified Communications Manager リリース 7.0(x) からリリース 8.0(2) にアップグレードする前に、IPv6 用 DNS サーバをプロビジョニングできます。ただし、リリース 8.0(2) へのアップグレードが終了するまで、IPv6 用 Cisco Unified Communications Manager の DNS レコードを設定しないでください。リリース 8.0(2) にアップグレードする前に IPv6 用 Cisco Unified Communications Manager の DNS レコードを設定すると、アップグレードが失敗し、リブート後にシステムが機能しなくなります。</p> <p>ヒント [IPv6名 (IPv6 Name)] フィールドの設定に加えて、Cisco Unified Communications Manager が IPv4 (または IPv4 と IPv6) を使用する機能/デバイスをサポートできるように、[IP アドレス (IP Address)] または [ホスト名 (Hostname)] フィールドを設定する必要があります。</p> |
| [MACアドレス (MAC Address)] | <p>このエントリはオプションです。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager サーバにあるネットワーク インターフェイス カード (NIC) のメディア アクセス制御 (MAC) アドレスを入力します。MAC アドレスは、NIC のパーマネント ハードウェア アドレスを示します。</p> <p>ヒント サーバをネットワーク上の別の場所に移動させることが多い場合は、MAC アドレスを入力して、そのサーバをネットワーク上の他のデバイスが常に識別できるようにする必要があります。サーバを移動する予定がない場合は、MAC アドレスは入力してもしなくてもかまいません。</p> |

表 2-1 サーバの設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|-------------------------------------|--|
| [サーバ情報 (Server Information)] | |
| [説明 (Description)] | このエント리는オプションです。 サーバの説明を入力します。説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックスラッシュ (\)、または山カッコ (<>) は使用できません。 |

サーバの検索

ネットワーク内にはいくつかのサーバが存在する場合があります。Cisco Unified Communications Manager では、条件を指定して、特定のサーバを見つけることができます。サーバを見つける手順は、次のとおりです。



(注) ブラウザセッションでの作業中は、検索/リストの検索設定がクライアント マシンの cookie に保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合や、ブラウザを閉じてから再び新しくブラウザ ウィンドウを開いた場合でも、検索に変更を加えない限り、Cisco Unified Communications Manager の検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [システム (System)] > [サーバ (Server)] の順に選択します。
[サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回のクエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、「**ステップ 3**」に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア (Clear Filter)] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索 (Find)] をクリックします。
一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数 (Rows per Page)] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択 (Select All)] をクリックして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 レコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

「関連項目」(P.2-9) を参照してください。

サーバの設定

Cisco Unified Communications Manager データベースにサーバアドレスを追加する手順、およびデータベース内のサーバアドレスを更新する手順は、次のとおりです。

始める前に

サーバを設定する前に、次の点を確認してください。

- 各サーバは、[サーバの設定 (Server Configuration)] ウィンドウで一度だけ追加するようにしてください。ホスト名を使用してサーバを追加し、その後同じサーバを IP アドレスを使用して追加すると、Cisco Unified Communications Manager は、Cisco Unified Communications Manager のアップグレード後にサーバのコンポーネントバージョンを正しく判別できません。Cisco Unified Communications Manager の管理ページに同じサーバのエントリが 2 つある場合は、アップグレードする前にエントリのどちらかを削除します（「サーバの削除」(P.2-7) を参照）。
- Cisco Unified Communications Manager の新規インストールを実行する場合は、2 番目以降の各サーバ（ノード）上に Cisco Unified Communications Manager をインストールする前に、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [サーバの設定 (Server Configuration)] ウィンドウで、それらの各サーバを定義する必要があります。2 番目以降のノードを定義するには、[新規追加 (Add New)] をクリックし、「サーバの設定」(P.2-5) の手順を実行します。2 番目以降のサーバを追加したら、そのサーバに Cisco Unified Communications Manager ソフトウェアをインストールすることができます。
- ネットワークで IPv4 を使用する場合は、適切な Cisco Unified Communications Manager 名とアドレス情報で、まず DNS サーバを更新した後、その情報を使用して、Cisco Unified Communications Manager サーバを設定する必要があります。

**注意**

ネットワークで IPv6 またはデュアルスタック モードの IPv4 および IPv6 がサポートされている場合は、Cisco Unified Communications Manager リリース 7.0(x) からリリース 8.0(2) にアップグレードする前に、IPv6 用 DNS サーバをプロビジョニングできます。ただし、リリース 8.0(2) へのアップグレードが終了するまで、IPv6 用 Cisco Unified Communications Manager の DNS レコードを設定しないでください。リリース 8.0(2) にアップグレードする前に IPv6 用 Cisco Unified Communications Manager の DNS レコードを設定すると、アップグレードが失敗し、リブート後にシステムが機能しなくなります。

- DNS を正常に動作させるため、必ず、すべてのサーバ (ダミー ノードを含む) の IP アドレスを DNS サーバ上のホスト名にマップしてください。この作業を行わないと、Cisco Unified Communications Manager により、License Manager サービスがダウンしていることを示すアラームが生成されます。
- Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [ホスト名/IPアドレス (Host Name/IP Address)] フィールドはいつでも更新できます。
- [サーバの設定 (Server Configuration)] ウィンドウで IP アドレスを変更する場合、設定の保存を実行すると、「サーバの名前/IPアドレスの変更は、Cisco Unified CallManager に問題が発生する原因となる場合があります。続行しますか?(Changing the name/IP Address of the server may cause problems with Cisco Unified CallManager. Are you sure that you want to continue?)」というメッセージが表示されます。[OK] をクリックする前に、このフィールドの更新が及ぼす影響について必ず理解しておいてください。たとえば、この設定を誤って更新した場合、Cisco Unified Communications Manager が動作不能になることがあります。つまり、データベースが動作しない、Cisco Unified Communications Manager の管理ページにアクセスできない、などの問題が発生することがあります。また、このフィールドを更新する場合、他の関連作業を実行しないと、Cisco Unified Communications Manager に問題が発生することがあります。
- サーバ設定の変更を有効にするには、Cisco Unified Communications Manager を再起動します。Cisco CallManager サービスの再起動については、『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』を参照してください。
- IP アドレスまたはホスト名の変更の詳細については、『Changing the IP Address and Host Name for Cisco Unified Communications Manager Release 8.0(2)』を参照してください。

手順

ステップ 1 次の作業のいずれかを実行します。

- サーバを追加するには、[システム (System)] > [サーバ (Server)] を選択し、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- サーバを更新するには、「[サーバの検索 \(P.2-4\)](#)」の手順を使用してサーバを検索します。

[サーバの設定 (Server Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 適切な設定値を入力します (表 2-1 を参照)。

ステップ 3 ウィンドウ左上のツールバーに表示されている [保存 (Save)] アイコンをクリックして (または、ウィンドウの一番下に表示されている [保存 (Save)] ボタンをクリックして)、データを保存し、サーバをデータベースに追加します。

サーバ設定の変更を有効にするには、Cisco Unified Communications Manager を再起動します。Cisco CallManager サービスの再起動については、『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』を参照してください。

追加情報

「関連項目」(P.2-9) を参照してください。

サーバの削除

Cisco Unified Communications Manager データベースからサーバを削除する手順、および削除したサーバを再び Cisco Unified Communications Manager クラスタに追加する手順は、次のとおりです。

始める前に

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、クラスタの最初のノードは削除できませんが、2 番目以降のノードは削除できます。[サーバの検索と一覧表示(Find and List Servers)] ウィンドウで 2 番目以降のノードを削除しようとする、Cisco Unified CM の管理ページに、「1 つ以上のサーバを完全に削除しようとしています。この操作を取り消すことはできません。続行しますか?(You are about to permanently delete one or more servers. This action cannot be undone. Continue?)」というメッセージが表示されます。[OK] をクリックすると、そのサーバは Cisco Unified CM データベースから削除され、以後使用できなくなります。

**ヒント**

[サーバの設定(Server Configuration)] ウィンドウでサーバを削除しようとする、前述と同様のメッセージが表示されます。[OK] をクリックすると、そのサーバは Cisco Unified CM データベースから削除され、以後使用できなくなります。

サーバを削除する前に、次の点を考慮してください。

- Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、クラスタ内の最初のノードを削除できませんが、2 番目以降のノードは削除できます。
- Cisco Unified Communications Manager が動作しているノード、特に、電話機などのデバイスが登録されているノードは削除しないことをお勧めします。
- 2 番目以降のノードに関する依存関係レコードが存在する場合でも、そのレコードが原因でノードが削除できなくなることはありません。
- 削除するノードの Cisco Unified Communications Manager にコール パーク番号が設定されている場合は、削除できません。ノードを削除するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページでコール パーク番号を削除しておく必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager の管理ページの設定フィールドに削除するサーバの IP アドレスまたはホスト名が含まれている場合は、サーバを削除する前に設定を更新してください。この作業を行わないと、サーバの削除後、その設定に依存する機能が動作しなくなる場合があります。たとえば、サービス パラメータ、エンタープライズ パラメータ、サービス URL、ディレクトリ URL、IP Phone サービスなどに IP アドレスまたはホスト名を入力した場合は、サーバを削除する前に、この設定を更新してください。
- たとえば Cisco Unity、Cisco Unity Connection などのアプリケーションの GUI に削除するサーバの IP アドレスまたはホスト名が含まれている場合は、サーバを削除する前に、対応する GUI の設定を更新してください。この作業を行わないと、サーバの削除後、その設定に依存する機能が動作しなくなる場合があります。
- サーバを削除すると、MOH サーバなどのデバイスも自動的に削除される場合があります。
- ノードを削除する前に、2 番目以降のノードでアクティブになっているサービスを非アクティブにしておくことをお勧めします。この作業を実行しておく、ノードの削除後にサービスが動作することが保証されます。

- サーバ設定の変更を有効にするには、Cisco Unified Communications Manager を再起動します。Cisco CallManager サービスの再起動については、『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』を参照してください。
- データベース ファイルが正しく更新されるようにするには、サーバの削除後にクラスタをリポートする必要があります。
- ノードの削除後、Cisco Unified Reporting にアクセスして、Cisco Unified Communications Manager でクラスタからノードが削除されたことを確認してください。さらに、Cisco Unified Reporting、RTMT、または CLI にアクセスして既存のノード間でデータベース リプリケーションが行われていることを確認し、必要であれば、CLI を使用してノード間のデータベース リプリケーションを修復してください。

手順

-
- ステップ 1** 「サーバの検索」(P.2-4) の手順を使用して、サーバを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除するサーバを選択します。
- ステップ 3** ウィンドウ左上のツールバーに表示されている [選択項目の削除 (Delete Selected Item)] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの一番下に表示されている [選択項目の削除 (Delete Selected)] ボタンをクリックします)。
-

Cisco Unified Communications Manager の管理ページから 2 番目以降のノード (サブスクライバ) を削除し、それを再びクラスタに追加する場合は、次の手順を実行します。

削除したサーバを再びクラスタに追加する手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[システム (System)] > [サーバ (Server)] の順に選択してサーバを追加します。
- ステップ 2** 2 番目以降のノードを Cisco Unified Communications Manager の管理ページに追加したら、シスコから提供されたソフトウェア キットのディスクを使用して、そのサーバ上でインストールを実行します。



ヒント たとえば、バージョン 8.0(2) ディスクがある場合は、ノード上で 8.0(2) のインストールを実行します。たとえば、互換性のあるバージョンの 6.1(3) ディスクがある場合は、そのディスクを使用して、2 番目以降のノードに Cisco Unified CM をインストールします。インストール時に複数のオプションが表示されたら、[Upgrade During Install] オプションを選択します。

2 番目以降のノードにインストールするバージョンが、クラスタ内の最初のノード (パブリッシャ) で動作しているバージョンと一致していることを確認してください。

クラスタ内の最初のノードで Cisco Unified Communications Manager 8.0(2) バージョンおよび Service Update (または Engineering Special) が動作している場合は、インストールでいくつかのインストール オプションが表示されたときに [Upgrade During Install] オプションを選択する必要があります。このオプションを選択する前に、DVD またはリモート サーバ上の Service Update (または Engineering Special) イメージにアクセスできることを確認してください。インストールの実行方法の詳細については、ご使用のバージョンの Cisco Unified Communications Manager に対応するインストレーション マニュアルを参照してください。

- ステップ 3** Cisco Unified CM をインストールした後で、2 番目以降のノードを設定します (ご使用のバージョンの Cisco Unified CM に対応するインストレーション マニュアルを参照)。

- ステップ 4** Cisco Unified Reporting、RTMT、または CLI にアクセスして既存のノード間でデータベース リプリケーションが行われていることを確認し、必要であれば、ノード間のデータベース リプリケーションを修復します。
-

追加情報

「関連項目」(P.2-9) を参照してください。

関連項目

- 「サーバの設定値」(P.2-1)
- 「サーバの検索」(P.2-4)
- 「サーバの設定」(P.2-5)
- 「サーバの削除」(P.2-7)
- 「Cisco Unified Communications Manager の設定」(P.3-1)
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「インターネット プロトコルバージョン 6 (IPv6)」
- 『Changing the IP Address and Host Name for Cisco Unified Communications Manager Release 8.0(2)』

